

令和6年度 来迎寺小学校の教育目標

1 本校の教育目標

校訓を基底におき、「自己肯定感や自己有用感を高め、自ら成長できる子」の育成を通して、児童・保護者・地域・教職員にとって魅力ある学校づくりを目指します。

校 訓	めざす児童像	具 体 目 標
<ul style="list-style-type: none"> ○ なかよく ○ がんばる ○ やさしい子 	自己肯定感や自己有用感を高め、自ら成長できる子	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学び合い、考えを広げたり高めたりする子 ・ 意欲的な姿勢で学び、基礎学力を高める子 ・ 進んであいさつをして自分を開く子 ・ 明るく、思いやりを持ち、人権感覚を高める子 ・ 体を鍛え、主体的に運動する子

2 学校教育方針

4つのアプローチからなる来迎寺スタンダード【「わくわく」学びづくり・「いきいき」心づくり・「すくすく」体づくり・「どきどき」絆づくり】を充実させることで、自己肯定感や自己有用感を高め、SDGs 未来都市の一員としての資質の基盤を形成します。そのために、家庭はもちろん、学区教育懇談会を中心として、地域との情報共有、連携・協働することで、「地域とともにある学校」づくりを推進します。

3 重点努力目標（多忙化解消にかかる業務改善を含む）

ア 確かな学力を育む教育（知）—【「わくわく」学びづくり】

- ① 主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善や、仲間と学び合い高め合う機会の設定を継続的に行うことで、「学ぶ楽しさ」を実感できるようにします。また、SDGs 未来都市の一員としての資質を高めるために、17の目標に対応した系統的な学習活動からなる総合的な学習の時間を推進します。以上を通して、生涯にわたって能動的に学び続けることができる資質・能力を育成します。
- ② ICTの継続的で有効な活用と知立市学校教育スタンダード「かきつばた」の方向性の相関を意識しながら学びのユニバーサルデザイン化に努めることで、「個別最適な学び」を実現し、「分かるうれしさ」を実感できるようにします。

イ 豊かな人間性を育む教育（徳）—【「いきいき」心づくり】

- ① 「自分を開き、相手に寄り添うあいさつ」の習慣化を通して、社会性を高め、自己肯定感を醸成します。
- ② 道徳教育や豊かな体験活動の充実を通して、自他の生命を尊重する心や、多様な考えを受け入れ尊重する心の醸成、規範意識の高揚等、教育活動全体で豊かな情操と道徳心を培います。

ウ 健やかな心身を育む教育（体）—【「すくすく」体づくり】

- ① 授業、放課等の時間を効果的に活用したり、手軽に運動ができるような設備の充実を図ったりすることで、自らの体づくりに関心を持ち、主体的に運動したり体力を高めたりする姿勢を育てます。
- ② 食生活に関心を持ち、生涯にわたって自らの健康を適切に管理・改善していく資質や能力を養います。

エ 自己肯定感の育成—【「どきどき」絆づくり】

- ① 自他を認め合う機運を学校・学年・学級で高めたり、キャリアパスポートの有効活用を図ったりすることを通して、自己肯定感や確かな絆づくりに努めます。
- ② 発達障がい等や海外にルーツをもつ児童等の困り感に寄り添ったり、適切な支援体制を構築したりすることで、インクルーシブ教育の実現を目指します。

オ 学校・家庭・地域の連携と協働を通じた「地域とともにある学校」づくり

- ① 学区教育懇談会等を活用した地域との連携・協働を大切にするとともに、コミュニティ・スクール構築に向けて組織の在り方を見直し、保護者、地域人材の教育活動への参画の推進に努めます。
- ② 防犯・防災体制の連携・協働を通して、魅力的で安全・安心な教育環境づくりに努めます。

カ 教職員の資質向上と働き方改革の推進

- ① 校内外での研修・研究やOJTの機会を創出し、資質向上に努めます。
- ② 教育活動や勤務体制を多面的に見直し、望ましい働き方の実現を図ります。